

## ページ 2

### Basic Information / 基本情報

#### Duration / 開催期間

説明: ~年~月 から ~年~月まで

2013/03/23~2013/10/26

#### Staff / スタッフ

説明: 青年会議所メンバーの参加人数

例: 何人 ○○member

13members

#### Sponsors / 支援者

説明: 青年会議所以外のメンバーがいる場合のみ記載してください

例: ○○市ボランティア団体等

北上市、西和賀町、北上市教育委員会、西和賀町教育委員会、地域新聞社(岩手日報、岩手日日)、北上ケーブルテレビ

#### Budget 予算

説明: ドルで表示してください。

例: 1万円なら one hundred dollar

25,435 USD (twenty-five thousand four hundred thirty-five dollars)

#### Profit / Loss 利益/損失

説明: 基金を集めること以外は、0にしてください

0

In Which UN MDG best fit (if Apply)? UN MDGs の該当項目 (もしあれば)

説明:

#### Who is benefited? 誰の為に?

説明: 活動エリアに住み暮らす人々 人

北上市に暮らす人々95,000 人

#### Objective 目的

説明: (例 1) 子ども対象の事業をベースにして、参加者とメンバーの

意識を変革を促し、前向きな変化を創り出すため

JCI 北上は地域を Positive Change していく市民を Active Citizen にする。

JCI北上は以下の活動の実施により、継続的に地域を発展させる。

- 1 さまざまな経験を提供することで Active Citizen を育成する。
- 2 地域社会に深く関わることを通じて、地域愛を育む機会を提供する。
- 3 現存のメンバーだけでなく将来のメンバーたちにも、さらなる Active Citizen 構想の理解のために、我々は事業計画の学びと実施する場を提供する。
- 4 より質の高い事業を継続して行えるように事業検証のできる市民を育成する。

## Overview 概要

説明:必ず結果と合致しているはず

JCI 北上はまず始めに、北上市に住む職業も趣味も所属団体も違う成人全てを対象に50名程度の参加を募り、タウンラボアカデミー2013を通じて、JCI ミッションとビジョンを実施する。

タウンラボアカデミー2013とは以下の体験を通してリーダーシップを学ぶプログラムである。

- (1)3月、4月、5月の月1回行われる3回のセミナーに出席する。
- (2)9月に地域企業と共に、鬼っジョブ～北上おしごとパーク～を開催する。そのイベントを通じて、子どもたちが地域に目を向け、また将来の職業に対する希望をもつことを支援する。
- (3)その後、今後のためにこの事業の検証を行う。

鬼っジョブ～北上おしごとパーク～(KIDS-job)とは市民が主導で、子供に地域企業の職業を体験させることで、地域企業の地域への貢献と将来性に気づかせ、希望をもつ機会を与える事業である。

- 1 タウンラボアカデミー2013に75名の市民が参加した。
- 2 JCI北上は市民に向けて、まちづくりの基本知識を学ぶセミナーを開催した。
- 3 JCI北上は市民に向けて、事業を作るために考えを表現し、まとめていく手段を学ぶセミナーを開催した。
- 4 JCI北上は市民に向けて、誰のために何のために事業を行うかを再認識するセミナーを開催した。
- 5 JCI北上は市民にセミナーで学んだことを活用させ、鬼っジョブ～北上おしごとパー

- ク～を実施する計画を立てさせた。
- 6 JCI北上は、市民に鬼っジョブ～北上おしごとパーク～へ参加させる地域企業との交渉を行わせた。
  - 7 JCI北上は市民に鬼っジョブ～北上おしごとパーク～を実施させた。この事業の実施のために準備を行い 395 名の子どもを参加させた。
  - 8 JCI北上は市民に鬼っジョブ～北上おしごとパーク～の検証をさせた。

## Result 結果

説明: 複数の短い文章になるように注意してください

目的がどのくらい達成できたか書いてください

上記の結果の想定外の結果を書いてください

上記の結果の確認方法を書いてください

検証結果を簡潔に書いてください

市民は前向きに Active Citizen に変わり、地域社会に大いに貢献した。

- ・参加した市民は今後も地域社会のために57名が活動していくことを決めた。
- ・事業のヒアリング検証の結果、参加した企業のうち80%はまた鬼っジョブ～北上おしごとパーク～に参加したいと答えた。
- ・子どもたち256名にヒアリングアンケートをした結果、253名(98.8%)が地域企業への愛着と将来の職業に希望を持てたと回答した。
- ・参加していない企業である、洗濯業、損害保険代理店業、設計業など数社が次回への参加をJCI北上に申し出た。
- ・市民は事業の検証の中で今後も能動的に行動するために継続して活動できる組織作りの計画をスタートした。
- ・北上市は市民とJCI北上が作り上げた事業を高く評価し支援金を出すことを決定した。

## Actions Taken 行動

説明:

- 2月7日 子ども職業体験事業を委員会で東京へ視察
- 2月12日～3月10日 市民の参加者を募集
- 3月23日 第1講座 まちづくりの基礎となる考え方と事業を実現する為に必要なことを学ぶ

4月13日 第2講座 話し合いや会議をスムーズに進めるための手法を学ぶ  
4月24日 第1回全体会議 事業内容(職業体験案のディスカッション)について  
5月9日 第2回全体会議 事業内容(職業体験案のディスカッション、事業における役割案)について  
5月20日 第3回全体会議 事業内容(職業体験の企業を決定(30社)、事業スケジュール)について  
6月4日 第4回全体会議 事業内容(職業体験ブースの決定、事業スケジュール)について  
6月22日 第3講座 目的とビジョンを確認し、事業構築に向けての意識統一  
6月22日 第5回全体会議 事業内容(チーム編成)について  
7月2日 第6回全体会議 事業内容(職業体験の内容ディスカッション)について  
7月3日～9月28日  
各8チーム内の会議(計各チーム10回以上)  
各8チームは事業に参加する地域企業との打ち合わせを複数行った  
7月16日 第7回全体会議 事業内容(職業体験の内容を発表)について  
8月6日 第8回全体会議 事業内容(職業体験の内容を発表)について  
8月21日 小学生の募集(北上市全19小学校周り4～6学年対象にチラシ4000枚配布、募集専用ホームページをJCI北上ホームページと職業体験事業の募集チラシにリンク)を開始  
1週間で400人以上の子供たちの募集があった  
8月23日 第9回全体会議 事業内容(職業体験の内容を発表)について  
9月4日 第10回全体会議 事業内容(職業体験の内容を発表)について  
9月5日 ラジオに出演し事業PRを行った。  
9月18日 第11回全体会議 事業内容(参加する子供たちへガイドブック等の発送作業)について  
9月19日 ラジオに参加者(市民)と共に出演し事業PRを行った。  
9月24日 第12回全体会議 事業内容(スタッフ説明会)について  
9月29日 第4講座 JCI 北上50周年記念事業「鬼っジョブ～北上おしごとパーク～」を開催  
10月7日 第13回全体会議 事業の検証についてのディスカッション  
10月26日 第5講座 事業の検証、発表を行い、今後も継続的に活動する意識統一を図る

#### Recommendations 考察や推奨

目的のうちどの部分が達成されたのか？

達成できなかった部分は、何か？

それは、なぜか？その改善策は？

1.  
市民が今後も行動するための組織化に向けてスタートした。したがって、JCI北上は目的1を達成した。
2.  
57名の市民が今後も地域社会のために活動することを決めた。したがって、JCI北上は目的2を達成した。しかし、残りの18名が事業に長期の参加が難しかったため、地域社会への愛情を深めなかった。ただし、この事業に部分参加もできるようにすれば市民が参加しやすくなり、JCI北上は目的2をもっと完全に達成したと思われる。
3.  
子どもたち256名にヒアリングアンケートをした結果、253名(98.8%)が地域企業に愛着と希望を持てたと回答した。したがって、JCI北上は目的3を達成できた。
4.  
市民がヒアリングアンケートを行い検証材料を集めた。次に市民が企画から準備・実施までの問題点を整理した。最後に市民がその改善方法を検証して資料にまとめた。したがって、JCI北上は目的4を達成した。

岩手日報(発行部数21万部)、岩手日日(発行部数5万5千6百部)の2つの新聞社に計3回記事として取り上げられた。また、地域のラジオやTVにも取り上げられた。

Best Local empowerment program

ページ3

Objectives Planning Finance and Execution

目的・計画・財務・実施

What were the objectives of this program

このプログラムの目的は？基本情報に詳述して下さい

JCI北上は地域を Positive Change していく市民を Active Citizen にする。

JCI北上は以下の活動の実施により、継続的に地域を発展させる。

1. さまざまな経験を提供することで Active Citizen を育成する。
2. 地域社会に深く関わることを通じて、地域愛を育む機会を提供する。
3. 現存のメンバーだけでなく将来のメンバーたちにも、さらなる Active Citizen 構想の理解のために、我々は事業計画の学びと実施する場を提供する。
4. より質の高い事業を継続して行えるように事業検証のできる市民を育成する。

北上市は物流と工業の中心地である。そのため地域の発展のためには市民により多くの開放性と積極性が必要である。そこでこの事業が必要となる。

### How does this program align to the JCI Plan of Action

この事業は、どのようにJCIの活動計画と合っていますか？

活動計画のどの部分に合致しているのか？合致している部分の詳述してください。

\* JCI Action plan のシートを参照

この事業は以下の点でJCIの活動計画と合致する。

JCI北上が市民、子ども、地域企業をそれぞれ結びつけ事業を行う。  
また、JCI北上が彼らに経験を共有させ地域社会を前向きに変化させる機会を提供する。  
さらに、JCI北上がアクティブシチズンになる機会を提供することでソリューションプロバイダーとしての役割を果たす。

### Was the budget an effective guide for the financial management of the project?

予算は事業の財務管理のための効果的なガイドになりましたか？

予算上の工夫と、予算の内訳の概算を記述してください

予算書を以下の通りの配分で作成した。

第1回セミナー \$ 2,892 (two thousand eight hundred ninety-two dollar)

第2回セミナー \$ 731 (seven hundred thirty-one dollar)

第3回セミナー \$ 562 (five hundred sixty-two dollar)

鬼っジョブ～北上おしごとパーク～

\$ 18,000 (eighteen thousand dollar)

鬼っジョブ～北上おしごとパーク～の検証

\$ 3,250 (three thousand two hundred fifty dollar)

JCI北上は予算を作成することで余分な出費を抑えることができ、効果的に予算を使用できた。

また、JCI北上は企画当初から主旨を伝えて理解を得た新聞社やTVに協力をしてもらうことで、予算をかけずに効果的に広報した。

### How does this project advance the JCI Mission and Vision?

どうやってこの事業は、JCIのミッションと、ビジョンを推進しましたか？

ビジョンとミッションに分けて明確に詳述してください

#### JCI ミッションの推進

JCI北上は市民に地域社会へ能動的に関わり続ける重要性を認識させることで推進した。

また、JCI 北上は市民が子どもをポジティブチェンジする機会を提供することで推進した。

#### JCI ヴィジョンの推進

JCI北上はローカルネットワークをつくった。

また、JCI北上はアクティブシチズンと地域企業を連携させ、子どもにポジティブチェンジする基礎を与え、互いに成長していける環境を提供した。

さらに、JCI北上はプログラムを行った結果、市民が新たな組織を築き上げられるように促した。

ページ4

**By number,how many members were involved in this program?**

事業のスタッフは、何人？数字で記載してください

180人

**By percentage how many members of the Local Organization were involved in this program?**

LOM メンバーの参加率は、何パーセントですか？%で記載してください

53%

**Describe the main roles of the participating members in this program**

このプログラムで参加しているメンバーの主要な役割を簡潔に記述してください

セミナー受講者95名(市民75名) セミナー設営13名 調査研究20名(市民10名)  
企画88名(市民75名) 記念事業会場設営 180名(市民115名) 広報45名(市民32名)

ページ5

## Community Impact 社会への影響

How did the Local Organization measure community impact for this program

どのように、LOMは、このプログラムのために地域社会への影響を測りましたか？

JCI北上は鬼っジョブ～北上おしごとパーク～で、子ども256名と参加した企業30社に当日、事業会場で市民がヒアリングによるアンケートを行った結果を検証して影響を測った。

また、JCI北上は市民75名に事業検証を終えた直後に同じ会場でアンケートを行った結果で影響を測った。

Describe the actual community impact produced by this project

このプロジェクトによって発生される実際の地域社会への影響を記述してください

- 1 参加した市民の71%が今後も継続的に活動したいと申し出た結果から、今後も地域社会のために活動していく市民が増えた。
- 2 子どもにヒアリングアンケートを行った結果 98.8%が地域企業に愛着と希望を持ったと回答した。したがって、地域企業に愛着と希望を持つ子どもが増えた。
- 3 参加した企業のうち80%がまた参加したいと答えた。したがって、地域社会を活性化する事業に協力する地域企業が増えた。
- 4 子どもの保護者のヒアリングアンケートで今後も開催してほしいと大多数の意見をもらった。
- 5 北上市がこの事業を高評価し支援金を出すことを決定した。
- 6 今回参加していない企業から次回**の**参加の申し出があった。

ページ6

## Impact on Local Organization LOM への影響

How did the Local Organization benefit from running this project?

どのようにLOMは、この事業を運営することから利益を得たか？

JCI 北上の運動を地域企業や市民に広く知らせることが出来た。岩手日報(発行部数21万部)、岩手日日(発行部数5万5千6百部)の2つの新聞社に計3回記事として取り上げられた。また、地域のラジオやTVにも取り上げられた。

JCI 北上の事業に興味を持った市民が2014年に入会したいと申し出た。  
地域企業との交流を多くもった結果、JCI 北上の活動にますます協力的になった。



## How did the program advance the JCI Mission?

どのようにJCIミッションを推進したのか？

JCI北上は企画段階から市民を能動的に参加させるために3回のセミナーを受講させて、市民をポジティブチェンジしたことから推進した。

## How did the project advance the JCI Vision?

どのようにしてJCIビジョンを推進したのか？

JCI北上はグローバルネットワークのためのローカルネットワークの創造を行ったことで推進した。

また、JCI北上はアクティブシチズンと地域企業を連携させ、子どもにポジティブチェンジする基礎を与え、互いに成長していける環境を提供したことで推進した。

さらに、JCI北上はプログラムを行った結果、市民が新たな組織をこれから築き上げられるように促したことで推進した。

ページ7

## Long-term Impact of the Program プログラムの長期的な影響

### What is the expected long-term impact of this project?

このプロジェクトの期待される長期的な影響は、なんですか？

市民がこのプロジェクトで学んだことを活かすことで自らの所属団体をさらに積極的に牽引していくことが期待される。

そのことが他の団体や人へと広がっていき、さらにポジティブチェンジされた市民が地域社会を開放性をもって活性化することへと導くことが期待される。

子供が地域企業への愛着を **も**ったことで、将来地域社会に積極的に関わる可能性を期待できる。

### What changes Would you make to improve the results of this project?

このプロジェクトの結果を改善するために、どんな改善策がありますか？

タウンラボアカデミーを発展させていくために

1 参加する市民を増やす。

- ・JCI北上はタウンラボアカデミーの魅力メディアで今より広く伝えていく。
- ・参加した市民が自分たちの活動を地域社会にアピールする。
- ・参加者が興味を持てるセミナーを増やす。
- ・地域企業・行政・団体と連携をとり、周知を図る。

## 2 アクティブシチズンを組織化する。

- ・参加した市民が新たなアクティブシチズンを生み出す。
- ・一人ひとりの役割をわかりやすくする
- ・情報の伝達を加速させ、共有を充実させる。
- ・鬼っジョブを定期的開催できるようにする。

## 3 参加しやすい環境づくり。

- ・部分参加もできるプログラムにする。
- ・子供がいる人でも参加がし易くなるよう、託児所をつくる。
- ・参加者同士のつながりを強くする。
- ・拠点の充実化を図る。
- ・協力団体を増やす。